



議会だより

たまかわ

No.153

平成30年
10月24日

9月定例会

主な内容

秋の風景	2
9月定例会のあらまし	3
平成29年度決算	4
議案審議	8
村政ここがききたい	13
委員会活動	17
村民の声	18

と
稲穫ったどー!!

～玉川第一小学校稲刈りより～





ガンバレ泉中!!



須釜小児童による「さるなし」つみとり

秋の風景



元気な入場行進



よしの杜のサルビアの前で



ヒミツの場所



稲の警備はまかせて



今年は新しいみこしでワッショイ!!(川辺)



議案第46号

損害賠償額392万円

損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について

主な賠償の中心は、村が売却した旧保育所跡地の土地について、相手方が宅地造成工事を実施したところ、地中からコンクリートガラ等の埋却物が発見された。このため、民法の規定により、相手方が撤去等に要した費用を村が負担するもの。

和解及び損害賠償の相手方
石川町 有限会社

あらまし

玉川村議会9月定例会は9月7日から14日までの8日間の会期で開催されました。

今定例会では、契約の締結や補正予算などの議案9件、決算の認定等6件を審議しました。

また、一般質問には4名の議員が登壇し、村執行部の考えを質しました。



地中から発見された埋却物

〔質疑〕

サン・エイト
金額
392万8555円

石井議員 埋却物の数量は。

答 36・29トンである。

議案第47号

消火活動に万全を

消防小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ売買契約の締結について

消防小型動力ポンプ積載車3台、及び小型動力ポンプ2台購入するための売買契約を締結するもの。

岩法寺、吉、山小屋の



購入車両のイメージ

〔質疑〕

各分団へ配備。
契約の相手方
郡山市 和自動車株式会社
金額
2,287万4,400円

大和田議員 導入車両を運転するための免許要件は。

答 すべて普通免許所持者であれば運転可能。



一般会計の決算は、歳入で42億6,139万円、歳出で41億3,677万円になり、翌年度に繰り越すべき財源を除いた、実質収支額は1億3,041万円の黒字となりました。

また、特別会計の決算は、歳入で17億7,123万円、歳出で16億2,073万円となりました。

特別会計についても、各会計ともに黒字となっています。

また、健全化判断比率及び資金不足比率の指標では、基準を下回ると報告されました。

認定第1～5号

各会計の決算状況

(1万円未満切り捨て)

会 計 別		歳入決算額	歳出決算額	収入未済額 (滞納額)
一 般 会 計		42億6,139万円	41億3,677万円	1億88万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	10億92万円	8億7,424万円	3,102万円
	介 護 保 険	5億6,305万円	5億4,813万円	198万円
	後 期 高 齢 者 医 療	5,377万円	5,360万円	
	農 業 集 落 排 水	1億5,348万円	1億4,474万円	879万円
合 計		60億3,261万円	57億2,438万円	1億4,267万円
前年度合計		57億8,953万円	54億3,520万円	1億5,272万円
前年対比		104.2%	105.3%	93.4%



報告第3号 健全化判断比率及び資金不足比率の報告

4つの健全化判断比率でチェック

指標	内容	29年度	28年度	比較	早期健全化基準
		①	②	①-②	
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし		15%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	赤字なし		20%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	8.7%	8.2%	0.5%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	39.8%	45.8%	▲6.0%	350%

国で示す基準値を超えた場合は、財政的に「危険」とみなされ改善に向けた計画を作成しなければなりません。玉川村は基準値を超える数値はありませんでした。

議会傍聴アンケート結果

平成30年9月定例会で、議会傍聴アンケートを実施しました。
16人の傍聴者が訪れ、9人からご意見、ご感想をいただきました。

アンケート回答者（年齢）

60代	1人
70代	6人
80代	2人

性別

男	5人
女	4人

ご職業

農業	3人
無職	6人

傍聴回数

1回	1人
2回	5人
3回	3人

議会活動に関心があるか

とても関心がある	1人
関心がある	5人
多少関心がある	1人
未記入	2人

傍聴のきっかけ

老人クラブ関係	6人
村のことを知りたかったから	1人
1回は見学しなければ	1人
未記入	1人

議会日程は、何で知ったか

老人クラブ	5人
玉川村防災行政無線	2人
議員から	2人

配布した資料は役立つか

役立つ	7人
未記入	2人

議員の質問内容は、理解できましたか

できた	5人
まあまあできた	1人
関連質問は理解できなかった	1人
未記入	2人

議員や村長等の質問は、よく聞こえましたか

聞こえた	3人
まあまあ聞こえた	1人
聞こえない人もいた（一部聞き取れなかった）	4人
聞こえなかった	1人

議員質問の内容を分かりやすくするためには

マイク等を使用してほしい	1人
わかる	2人
未記入	6人

村長等の答弁内容は理解できましたか

理解できた	5人
まあまあ理解できた	1人
もう少ししっかりした答弁をしてほしかった	1人
未記入	2人

年度決算 議

平成29年度各種会計の決算に係る審議の
質疑応答をお知らせします。

紙面の関係上、主なものを要約して掲載
しました。

ついて問う!!

は? は?

田子議員

問 住民監査請求の内
容は。

答 請求要件を満たし
ていなかった。

問 ふるさと納税返礼
品の見直しは。

答 30%以内とする。

大和田議員

問 公債費、借換で利
息の減額は。

答 5件の借換。2、
964万円の減額とな
る。

問 放射性物質基準値
超過は何か。

答 コシアブラ1件、
キノコ2件、猪肉1件。

問 消防団員の服装が
ふぞろい。

答 新入団員より順次
更新。一括更新は考えて
いない。

いない。

問 消防自動車の運転
規制は。

答 平成29年に法の改
正。普通免許では3・5
トン未満となる。ポン
プ自動車4台に影響が出
る。村消防団と協議する。

問 婦人消防隊で体調
を崩す人が出る。対応は。

答 村消防団と協議す
る。

問 敬老会で贈られる
夫婦座布団は有効に活用
されているか。現金支給
が使いやすい。

答 夫婦座布団は永年
にわたり商工会に依頼。
今後も座布団は継続す
る。

問 屋内遊び場の利用
実績は。

答 2万3,288名。
村内2,014名、村外
2万1,274名。

問 創業マルシエの実
績と問題点は。

答 2,718件、来
客4,077人、売り上
げ422万円。自立可能
か検討する。30年も継続。

問 フォトコンテスト
は継続すべき。

答 費用は村単費で実
施。村観光物産協会と検
討する。

問 認定こども園補助
金減の理由は。

答 施設型給付費及び
予定した嘱託職員の減に
よるもの。

問 全国学力テストの
村内小中学校の成績は。

答 国語、理科は勝る。
算数、数学が全国平均よ
り劣る。対策として、玉
一、須釜小に算数指導員
を配置。中学校について
は人材がない。学習
サポート事業や玉川大学
と連携した取り組みによ
り学力アップに努めてい
る。

平成29 審

実績、成果に 内容 効果

石井議員

問 ホームページの更新は。

答 各課ごとの情報は総務課に依頼があればリアルタイムで対応。古いものは削除していく。

問 ふくしまの恵みPR事業で北海道、大阪、東京は何名で、いくらかかったのか。

答 大阪4名、東京6名の3回分。1回50万円で、150万円。職員とJA職員の旅費。

三瓶議員

問 企業誘致に力を入れるべき。

答 県の企業立地セミナーに参加。撤退企業跡地、中のパチンコ店跡地、駒木根工業跡地、南須釜区有林などをPRした。誘致には至っていない。

車田議員

問 不納欠損と収入未済額はどのように取り組むのか。

答 不納欠損額は、前年比180万円増。企業倒産による固定資産税が要因。不納欠損、収入未済額を減らす方向で、滞納整理に力を入れたい。

問 使用料の収入未済額2,882万円の内容は。

答 住宅使用料である。過年度の使用料が厳しい。未納額減少に努める。

小林議員

問 固定資産税の減の理由は。

答 企業の倒産による。
問 定住者の促進で、村の税収は。

答 22戸で129万円の増収。
問 夏祭り事業の経済効果は。

答 3千人〜4千人の人数。売店や商店である程度の経済効果はあったと思う。

問 住宅リフォームの内容は。

答 水回りが多い。家全体のリフォームもある。

問 道路維持費で執行率が低いのはなぜか。

答 何か発生した場合を想定している。工事は行政区長と協議しながら進める。

問 結婚相談事業の成果は。

答 出会いを応援するもの。結婚は本人同士によるもの。

問 県民スポーツで参加選手の送迎を断られたと聞く。

答 市町村対抗の野球とソフト。それぞれに行くとということであった。

問 寄附金増の内容は。

答 村内企業から3件。内容は、教育振興、産業まつり、村政進展。

問 納税功労者賞について。

議案第48号

平成30年度 一般会計補正予算

給食センター

- 実施設計委託料 14,040,000円
- 地質調査委託料 1,801,000円



平成30年度の一般会計補正予算は、須釜公民館の改修工事に係る経費1億6,483万5千円を減額、給食センターの実施設計委託料1,404万円を増額するなどして、総額37億7,362万6千円とするものです。起立全員で可決決定されました。

〔審議〕

塩澤議員 教育費の中で、給食センター実施設計委託料、及び地質調査委託料の場所及び規模と、小学校が統合した場



老朽化が進む西部給食センター

合でも対応可能かどうか。

答 東部及び西部給食センターは、老朽化により改修の必要があり、二つの施設を新しく一つの施設として作るための実施設計委託料であり、場所は、須釜小学校敷地内、規模は小学校を含む600食を作る規模。

大和田議員 給食センターの設計の内容をもっと詳しく具体的に、また、この後、補正予算で出てくるか。事業費が

分かったら議会に説明があるか。

答 須釜小学校の敷地内としか決まっていない。今年度の補正予算はない。場所及び事業費が確定すれば、詳細について議会に報告する。

小林議員 いきなり、実施設計委託料ではなく、基本設計のプランニング等の事前の事があるべきで、予算計上は乱暴ではないか。

答 厨房設備の配置計画はほぼ完了している。ドライシステム方式でない補助事業対象にならないので、それを採用するところまでは決まっている。実施設計ができた時点で改めて説明したい。

田子議員 農業費の、農業次世代人材投資事業補助金75万円は、村では何名くらいが対象になるのか。またこれで十分か。

答 この補助金は40才未満の方で、就農計画を策定し、県の審査を受けて認められれば交付される補助金で、現在、玉川村には一名が準備型を受給している。営農開始型として年間150万円を受給できるが後半分として75万円となる。

石井議員 泉中学校費の実施設計委託料367万2千円の内容は。

答 来年6月に事業要望の泉中学校改修に当たり、外装、廊下、教室



統合に向け改修される泉中



森林再生事業により整備された山林

の塗装、クロスの張替のための実施設計の委託料で、精度の高い事業費を算出するためのもの。

小林議員 地方特例交付金補正額414万5千円。昨年より280万1千円増えているのはなぜか。

答 住宅資金借入等の特別控除に対し補填されるもので新築住宅が増えたため。

問 立木売却収入232万7千円は、どこをどこへ何立万売却か。

答 森林再生事業で、千五沢地区の広葉樹7割、針葉樹3割間伐したもの。アブクマエコロジー有限会社を通して市場へ、立万単価1,680円で売却。19.8haの内、玉川村分9ha分。

小林議員 徴税費、税過誤納金還付金3,600万2千円は何か。

答 7月に確定した法人村民税に対する還付金。

小林議員 教育費の中の体育館費で194万5千円及び、屋外体育施設費123万2千円の修繕料の内容は。

答 体育館費は、毎年の消防点検で異常部分の指導によるものと、ランニングマシン2台分。屋外体育施設費は、グラウンドの夜間照明の修繕。



改修される須釜公民館

小林議員 公民館費で、1億8,502万3千円と大きな予算を減額しており、当初よく検討して計上すべきではなかったか。

答 老朽化と震災の影響で改修の要望があった。その後、中学校統合が決まり、須釜中学校舎の利用についての検討も始まったことから、最小限の改修工事をする事とした。

議案第44号

平成29年度 上水道事業会計

- 1 m³供給単価 188.67円
- 1 m³給水原価 392.28円

差引 203.61円の持ち出しに

〔審議〕

小林議員 老朽化で布設替えを要する配水管の総延長は。

答 配水管、送水管を含めた進捗率は26%で、29年度末配水管総延長7万3,006m。

問 配水管耐用年数は。

答 配水管については40年としている。

問 過年度未収金が昨年70万5,894円徴収に対し23万6,757円徴収と減少しているのは、徴収努力が足りなかったのでは。

答 今後、未収金徴収に努めたい。



村の水がめ千五沢ダム

報告並びに意見

一般会計・特別会計

一般・特別会計の滞納金総額は1億4,269万6千円で、住宅使用料46万1千円が増加し、村税273万9千円、国保税582万2千円、緑資源公団償還金45万8千円、下水道使用料81万3千円、介護保険料67万7千円が減少、対前年比1,004万9千円の減少となりました。

また、不納欠損処分は、村税536万4千円、国保税294万3千円、介護保険料67万円の合計897万8千円と、対前年比256万8千円増加でしたが、年々取組の成果が表れてきているように感じます。

地元経済の回復と担当者の大いなる努力の結果、各税目での収納率がアップし滞納金は対前年比減少しました。滞納対策としては延滞即電話督促を行い、新規分を発生させず現年度分に注力したことが減少要因となりましたが、まだまだ高水準で推移しています。単に徴収不能というだけで安易な不納欠損処理をすると、住民監査請求にも発展しますので注意が必要です。滞納したら即対処し、多額の滞納金にならないよう早期対応に心掛けることと、滞納者の実態を的確に把握して適切な滞納整理を行い、収入未済額の圧縮に一層努力されるよう強く望むものです。情報の共有化を図り、村民の義務としての納税意識を向上させ、不公平感の発生しないよう徴収体制を更に充実させていただきたいと思います。

平成29年度からは軽自動車税、国保税、村民税、固定資産税のコンビ納付が可能になったことで、口座振替が減少、コンビ収納が増加しましたが、利用割合は統計を取っていないため正確には把握していません。今年度は統計を取っているとのことであり、結果がどうなるか期待したいと思います。

未登記件数(平成29年3月31日現在359筆)については、内容精査で11筆減、29年度新規買収22筆、年度内98筆(現年度分22筆、過年度分76筆)処理され、年度末272筆とのことです。毎年過年度分が処理され減少していますが、年数が経つほど所有者が複雑になり名義変更は困難になります。今後も未登記件数の早期解消に努めていただきたい。

最後になりますが、今後は農業集落排水事業、上水道事業整備、給食センター・役場庁舎建設、小・中学校統合等の大規模事業が控えているため、全職員が今まで以上に一丸となって財政の健全化に向けた取り組みを進めるとともに、村民福祉の向上を目指し、適切かつ効率的な事務の執行に努められますよう希望する。

監査委員決算審査

上水道事業会計

平成29年度における給水戸数は1,832戸(対前年比5戸増)となり、給水人口は5,316人(々62人減)となりました。年間配水量は配水管布設工事の影響が大きく、漏水が大幅に減少したため61万6,679立方メートルと、対前年比1万4,595立方メートルの減となりました。経常収支につきましては、収益的収入が2億1,369万4千円、収益的支出が2億712万3千円で、純利益は657万円となりました。しかし、上水道事業単独では赤字であり、一般会計からの補助金により収益が出る構造になっています。資本的収支では、資本的収入が9,294万6千円、資本的支出が2億482万9千円で不足額1億1,188万3千円は、当年度消費税資本的収支調整額973万3千円及び過年度損益勘定留保資金1億215万円で補填されています。

経営の効率性から平成28年度水道事業経営指標(給水人口5千人以上1万人未満)と比較してみると、総収支比率103・1%、経常収支比率103・1%と、共に100%を上回っており、収支は比較的良好といえます。しかし、繰入金比率(収益的収入分)では指標9・6%の4・9倍の47・8%と収入における繰入金依存度が高い状況となっています。

また、財務状況についてですが、当座比率は464・8%(指標366・8%)と流動負債が少ないため、短期債務に対する高い支払能力を表しています。総資本に対する自己資本の割合である自己資本構成比率は、指標66・0%より低い51・6%となっていますが、固定資産対長期資本比率は99・0%(指標89・1%)であり、長期的に活用可能な固定負債や自己資本で固定資産が調達されているといえます。

本村においての水道料金は供給単価が188・67円に対し、給水原価が392・28円となっており、1立方メートル当たり203・61円の持ち出しとなっています。対前年比9・13円悪化しましたが、原水及び浄水費のうち修繕費で875万4千円、資産減耗費のうち固定資産除却費564万6千円増加しているのが大きな要因であります。構造上自前の水源確保に対する投資額が大きいことが逆ザヤ要因ですが、できる限り業務改善に取り組むことと漏水対策に注力すべきと考えます。

滞納金は1,582万4千円と対前年比2万円減少しましたが、今後も早期対応と適切な滞納整理を行い、滞納金の圧縮に一層努力されるよう強く要望します。

また、玉川村上水道事業基本計画が作成され、石川町からの浄水受水と四辻水源有効活用が決定されております。概算工事費で約30億円が見込まれ、それ以外にも石川町の新母畑浄水場建設に伴う負担金や玉川村へ送水するポンプ場や管路の建設工事費が別途発生しますし、老朽配水管の布設替工事(26・1%済)も見込まれます。今後、安全な水の安定供給確保のために、多額の事業計画が予定されることから滞納金の発生防止・回収、料金の見直しや更なるコスト削減等に努めていただきたい。

玉川村議会 ■ 9 月 定 例 会 ■

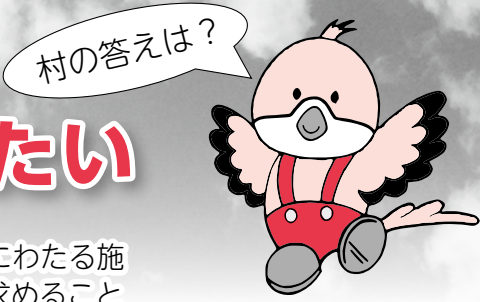
審議議案一覧 全会一致で賛成のため個別の賛否は省略しました。

議案番号	議 案 名	採 決	内 容 等
議案第44号	平成29年度玉川村上水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	認定	9ページに掲載
議案第45号	玉川村指定金融機関の指定について	可決	11月より現在のJA夢みなみから須賀川信用金庫へ変更するもの
議案第46号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決	3ページに掲載
議案第47号	消防小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ売買契約の締結について	可決	3ページに掲載
議案第48号	平成30年度玉川村一般会計補正予算(第2号)について	可決	8～9ページに掲載
議案第49号	平成30年度玉川村介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	平成29年度の決算が確定したことによる繰越金に係る所要額の補正
議案第50号	平成30年度玉川村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	平成29年度の決算が確定したことによる繰越金に係る所要額の補正
議案第51号	平成30年度玉川村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	平成29年度の決算が確定したことによる繰越金に係る所要額の補正
議案第52号	平成30年度玉川村上水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	人事異動に係る人件費の補正
認定第1号	平成29年度玉川村一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	4ページ、6～7ページに掲載
認定第2号	平成29年度玉川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	4ページに掲載
認定第3号	平成29年度玉川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	〃
認定第4号	平成29年度玉川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	〃
認定第5号	平成29年度玉川村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	〃
報告第3号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	5ページに掲載

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

議会を傍聴しませんか 9月定例会の傍聴人数16人(平成30年累計傍聴人数30人)
次回の定例会12月中旬を予定

村政 ここがききたい



一般質問：議員が村長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて、説明、報告を求めること



飯島三郎 議員

泉、須釜中学校が32年度からの統合に向け進んでいるようだが、廃校と

Q廃校となる校舎は取り壊すのか
A統合イコール取り壊しとは考えていない

い。

た小中一貫校を視野に考えていかなければならない。

答 玉川村学校等統合準備委員会では平成32年4月1日から2つの中学校を統合し、新しい学校名で開校する。2つの小学校の統合時期については議論されていない。また小中一貫校を視野に考

問 小学校が統合になった場合には、新校舎の建設についてはどのように検討しているのか。

答 適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図り、取り壊しは考えていない。

問 廃校になった校舎は取り壊すのか、ほかの目的に使用するのか。

なる校舎の使用目的が興味深く感じられる。また、将来的には小学校の統合についても慎重に検討をしなければならぬと思う。

Q中、岩法寺地区の村有林の将来に向けての利用は
A民間による宅地造成、分譲を支援する施策を検討

平成5年の福島空港開港当時、中地区より人口増に向けての施策として、玉川宮ノ前団地を進める会(仮称)より住宅団地の造成についての要望書が提出された経緯があると聞いていますが、その後の村当局の対応は。

答 多くの地方自治体は人口減少に悩んでいる。民間事業者による宅地造成、分譲を支援する。さらに、子育て、定住対策など積極的に取り組み、農業振興地域整備計画の見直しを進める。

問 玉川村では人口7千人を維持すると言っているが、実現可能か検討する必要があると思うが、住宅団地の造成も含めて村の考えは。

答 村長が職員当時、現地踏査し検分した。

問 村では当時、現地検分を行ったことはあるか。



岩法寺地区の村有林

一般質問

問 玉川村花いっぱい運動は、各種の表彰を受賞し、平成30年度は、県優良道路愛護団体の表彰式において、国土交通大臣表彰を受賞し、玉川村サルビアロードとして評価されている。運動がスタートして23年が経過し、43団体、894名が参加する運動であるが、参加団

Q今後の花いっぱい運動は
A今後も継続

小針竹千代 議員



中松寿会の除草のようす

体の中には、人数が集まらないとか、複数の団体に参加している。参加団体の再編を含め見直しは。
答 今後、協議会及び代表者会議の中で検討する。

問 国道118号線沿線においては、実施されていない場所が目立つが、実施場所の縮小は。
答 平成28年に場所の再編と距離の縮小を実施したので、今は考えていない。

問 中字屋敷前のサルビアを植える場所を舗装にした。植えていない場所を

舗装にする考えはあるか。
答 国道118号線は、植栽場所も含めて石川土木事務所管理であり、県の管理下なので自由に出来ない。
問 今年度は、異常気候により7月6日から28日まで雨が降らず、特に西部地区においては大半のサルビアが枯れてしまった。村としての対応はできなかつたのか。
答 生育状況などを踏まえて、総合的に判断しながら対応するが、天候によっては夏に水不足となり、節水制限が出されることもあるため、黒マルチでの対応をお願いしている。



修繕が決まった排水路

問 中区下池より満水時に流れる大型排水路は、老朽化と震災の影響により破損している。中区としても以前より村に修繕の要望をしているが、いつになったら修繕するのか。
答 地元の中区をはじめ

Q大型排水路修繕は
A早急に修繕する

問 中学校が統合になると、統合後の校舎となる現泉中学校への交通量が1.5倍になる。当然のように東部地区からのアクセス問題が出てくると考えられる。村としての対応は。
答 スクールバスを導入する場合の路線や台数等の検討、既存の県道及び村道の通行を基本にししながら、スクールバスの運行に当たり、改修が必要な箇所がある場合は調整及び検討する。

Q中学校統合後のアクセス道路は
A既存の道路で

め、関係機関と協議を進め、早急に修繕出来るように対応する。



塩澤重男 議員

Q村の財政は 大丈夫か A中期財政計画に 基づき対応

村は今後、上水道、下水道の大型事業を抱えている。自己資金、補助金、村債それぞれの資金計画を問う。

問 上水道事業の財政計画は。

答 概算工事費33億4,668万円。財源は国庫補助金8億3,524万円、企業債22億6,000万円、自己資金2億5,144万円。

問 未普及地域の範囲は。

答 四辻新田、大井沢、青井沢、河平、小半弓、滝作、狸穴。

問 加入率は。

答 約65%

問 平成28年度時に上下水道総額52億円と答弁、今回は63億円。11億円増はなぜか。

答 その時点での積算、精査の結果である。上水道は水質、水量検査浄水施設の設計の検討。下水道は延長などで上がった。概算設計である。

問 農業集落排水事業の財政計画は。

答 総事業費30億円。内訳は補助対象事業費27億1,000万円。単独事業費2億9,000万円。財源は、国庫補助金13億5,500万円。県補助金8,130万円、村債15億6,330万円、自己資金40万円。

問 企業債と村債で38億円の借金。1年あたりの返済金額と期間は。

問 5年据え置きで30年償還。

答 将来世代に負担を強いることになる。村民への説明は。

問 広報たまかわ等で周知徹底を図る。

答 広報たまかわ等で周知徹底を図る。

Q一人暮らし高齢者の支援は A緊急通報システム 事業など

問 老人の一人暮らしで、身体的に不自由な人への支援策は何か。

答 ①緊急通報システム運営事業、②寝具消毒・脱臭・丸洗い乾燥事業。

問 病院通いのための村独自の介護タクシーや福祉車両の利用での支援策はあるか。

答 通院のための介護タクシーや福祉車両の利用に係る村独自の支援はない。また、利用者への助成、割引券の発行は考えていない。

問 老人の一人暮らしの

Q泉放課後児童クラブにエアコンを A今後、整備したい

問 今年、7月から異常気象で連日30度を超える猛暑となった。泉放課後児童クラブが開設されているが、50人ほどの部屋にはエアコンが設置されていない。

答 今年、7月から異常気象で連日30度を超える猛暑となった。泉放課後児童クラブが開設されているが、50人ほどの部屋にはエアコンが設置されていない。

問 110戸の聞き取り調査は。

答 社会福祉協議会のコーディネーターがやるのでこれを参考にしたい。

問 地域公共交通網形成計画とは。

答 地域交通のあり方の写真真。路線バスや交通弱者にも視点を当てながら作成する。

問 関係者よりエアコン設置の要望がある。エアコンの設置は必要と思うが村長の考えは。

答 今年の夏はホールでの活動を制限せざるを得なかったことから、今後整備する方向で検討していきたい。

一般質問



エアコン設置が望まれる泉放課後児童クラブ

問 竜崎区の避難所は就

西日本豪雨では河川やため池が決壊し、多くの人々が被害にあわれた。本村でも阿武隈川の決壊で大きな災害となったが、管理体制についてうかがう。

Qハザードマップについて A分校跡地などを 一時的な避難所に

石井清勝 議員



避難所として要望の分校跡地

改センターになっているが、近くにはないので分校跡地を一時的な避難所にできないかがう。
答 分校跡地は竜崎区の高台にあり、車、農機具など財産の避難場所として、または応急仮設住宅等にも活用できると思うが具体的な計画はない。今後とも防災ハザードマップの周知と活用を

問 災害体制について、住民課3

答 国、県の補助要件に合う事業がないのが現状。

問 ため池の堆積土の撤去についてうかがう。

答 現在では農水水利施設事業に要する経費の分担金徴収に関する条例により、村と区などの受益者負担となっている。

問 図ってまいりたい。ため池の管理について、行政区において管理とあるが、区長は1年交代なので管理のあり方についてうかがう。
答 施設については地元行政区と連携して村が管理している。
問 分担金について農業をする人が減少しているが、村としてはどのように考えているのか。

問 防災計画に沿って全庁的に対応することとしている。

答 事前配備に総務課と住民課とで対応出来ないのか。

答 平成26年に住民課へ移管となった。平時においては住民課が中心となつて対応することになっている。
問 4名の職員で本当に対応が出来るのか伺う。



堆積撤去が望まれる荒池

答 懇談会の中では、ご質問のキャンプ場についてのご意見は特になかったが、担当からは事業概要の説明をした。また、これとは別に四辻出身の青年等に参加していただきワーキングを開催している。
今後、地元を足運び、打ち合わせ等を行いながら事業を推進してまいりたい。

Q村民懇談会について A特に意見等は なかった

問 6月の定例会で四辻新田地区のキャンプ場について、村民懇談会で説明し、意見を聞くと答弁したが、どのような意見があつたのかうかがう。
答 懇談会の中では、ご質問のキャンプ場についてのご意見は特になかったが、担当からは事業概要の説明をした。また、これとは別に四辻出身の青年等に参加していただきワーキングを開催している。

一般質問

本村の中学校統合にむけ

ひらた清風中学校を 視察

2常任委員会合同視察 10/2

委員会 活動



ひらた清風中学校での研修のようす

総務産業建設常任委員会と文教厚生常任委員会では、合同による視察研修を10月2日に実施し、平田村役場、並びにひらた清風中学校を訪問しました。

研修内容は、中学校統

合に関する取組等で、お

もに次の項目を中心に研修を行いました。

- ① スクールバスの運行について
- ② 安全対策について
- ③ 通学路の整備について
- ④ 生徒、保護者への支援について

10月12日、総務産業建設常任委員会は、岩法寺の福島県中央家畜保健衛生所と旧四辻分校の視察研修を行いました。

中央家畜保健衛生所は今年2月に開所し、県内に4カ所ある家畜保健衛生所の中でも拠点となる施設で、石川郡、郡山市、いわき市などを管轄しています。

当日は、当家畜保健衛生所の坂本所長より業務全般の説明を受けたあと、施設の中を視察しました。

また、旧四辻分校の視察も行い、当施設を拠点として進めている、玉川

中央家畜保健所、 旧四辻分校を視察

総務産業建設常任委員会 10/12

村賑わい創出事業について、担当課より説明を受けました。



福島県中央家畜保健衛生所での研修のようす



村民の声

Vol.8

おおの のりよし
大野 式吉さん
(南須釜)



中学校の統合に対して

泉、須釜両中学校が統合することが決定されました。本来なら、村の中央に新校舎を建設して統合することが理想だと思いますが、泉中学校への対等統合となりました。

体育館での部活動やスクールバスでの生徒の送迎など重要な問題があると思いますが、慎重に検討され、良い方向で解決してほしいと思います。全生徒が伸び伸びと勉学に、部活動に励まれる、良い環境づくりに村当局をはじめ教育関係方々にお願いをいたします。

村に対してひと言

本村の平成10年の人口と平成30年の人口では、約1,000人余り減少しています。まさに少子高齢化であります。これらの人口減少を少しでも食い止めなければなりません。

東部地域でも、上下水道が整備され、住宅建築には好条件の場所に農地が集積しています。土地の有効利用を図るため、農地転用の見直しが必要であると思います。

また、若い人たちが利用している認定こども園(クックの森)は、これから大変重要な施設であると思います。

交通の便が良い村なので、今後、優良企業の誘致等をされて、住んで良かったと言われる村づくりを進め、少しでも人口減少に歯止めをかける村政を実現してほしいと思います。

のぐち しんじ
野口 信次さん
(中)



議会を傍聴して

9月定例会の一般質問では大変意義のある質問があり、より一層の村発展に寄与されるものと期待をしながら傍聴してきました。

答弁の中には「今後実施する」、「今後検討する」という答弁がありましたので、確実に履行していただければと思います。

ただ残念なことには、資料により質問内容、また答弁内容については理解することができましたが、肝心な関連質問になりますと、質問の内容、答弁の内容が十分に聞き取ることができず残念でありました。傍聴席でも十分に聞き取れるよう、何らか講じていただければと思います。

村に対してひと言

人口7,000人を維持するための実現可能な検討事項が一般質問にも提案されておりましたが、対策として今後は農業振興事業計画の見直しや、住宅団地等の造成計画も含め人口増につながるよう検討するということでした。当村は子育て環境に恵まれ、また交通網にも比較的めぐまれており、それらの立地条件を生かし優良企業の積極的な誘致を図り、住宅団地の造成と関連しながら永住していただける環境をつくる必要があるであろうと思っております。

村の活性化を図る上においては、人口密度をいかに高めるかが課題であろうと思っております。

あつがき

天変地異の前ぶれか

近年、異常な猛暑、大型台風、豪雨や大地震の災害が全国各地で発生。

人類の果てしない欲望で地球を壊している人災か。

9月議会は平成29年度の決算議会です。

一般会計補正予算、特別会計、一般会計決算など慎重な審議の結果、全議案可決、認定しました。

議会には中老人クラブの会員が多数傍聴に見えられました。自分たちの村のことなので、多くの村民が議会に関心をもっていたのだと思います。

議会だよりの写真は秋がテーマです。爽やかな秋、スポーツの秋、芸術の秋、それぞれの秋を満喫してください。

塩澤重男